

2026年11月6日から9日まで

日本サンゴ礁学会

第29回大会が喜界島で開催されます

日本サンゴ礁学会 公開シンポジウム

世界に誇る隆起サンゴ礁の島・喜界島

—サンゴ礁・ジオパーク・地域の未来—

参加
無料
事前申し込み
不要

2026
11/8 日
10:00-12:00
(開場 9:30)



喜界島ジオパーク
Kikaijima Geopark

会場

喜界町体育館

喜界町 湾1588

開催趣旨

喜界島は、世界でも希少な隆起サンゴ礁で形成された島であり、近年の「日本ジオパーク」認定や「IUGS世界地質遺産」への選出によって、その豊かな自然環境と地質的価値に大きな注目が集まっています。本シンポジウムでは、「世界に誇る隆起サンゴ礁の島・喜界島」をテーマに、島の成り立ちや研究活動、ジオパークの取り組みを分かりやすく紹介します。日本サンゴ礁学会の開催にあわせ、学会参加者と町民が共にサンゴ礁の島「喜界島」の魅力を分かち合い、地域の未来を考える場とします。

第一部

”喜界島の成り立ち～300万年の時間旅行～”（深田地質研究所 理事長 松田 博貴）
”喜界島のサンゴ礁段丘 なぜ有名なの？”（金沢学院大学 教授 佐々木 圭一）
”喜界島ジオパーク誕生への歩みとこれから”（喜界町役場 ジオ・文化財課 課長 上地 義隆）
”喜界島のサンゴ礁とともにつくる未来”（喜界島サンゴ礁科学研究所 理事長 渡邊 剛）

第二部

パネルディスカッションーサンゴ礁の自然と文化の活用を目指してー
第一部での講演者に加えて、喜界町町長・隈崎悦男氏をお迎えして、喜界島のサンゴ礁資源と地域の未来について議論します。国内外から集まるサンゴ礁の研究者・実践者のみなさんとの意見交換の機会にもしたいと思います。

(ファシリテーター：喜界島サンゴ礁科学研究所 山崎敦子)

町民向けジオツアー

喜界島ジオパークの学術顧問である松田博貴先生（熊本大学名誉教授）、佐々木圭一先生（金沢学院大学教授）とともに、島内の地質サイトをバスで巡り、喜界島の大地の成り立ちや魅力を楽しく学びます。

日時：11月8日（日）13:30～17:00

集合場所：喜界町体育館

参加費：無料 定員：30名（先着順）

※小学生以下は保護者同伴

申込先：ジオ・文化財課

☎ 0997-55-3308

受付：9:00～17:00（土日祝日を除く）

※電話による事前申込制。定員になり次第締切。

プログラム

自由集会 Open Sessions

公開シンポジウムに加え、以下の自由集会はどなたでも参加可能です。
奮ってご参加ください！



自由集会 01 [11/6 (金) 18:00-19:30]

喜界町役場 トレーニング室

喜界島サンゴロジー

オーガナイザー：渡邊 剛・山下恵実・駒越太郎
(喜界島サンゴ礁科学研究所)

喜界島サンゴ礁科学研究所は、喜界島のサンゴ礁を基盤に、人と自然のあり方を研究するとともに、地域の人々が考える未来を集合知としてどのように表せるかを研究し、演劇をはじめとするアートの活動もおこなってきました。本自由集会では、これまでの科学とアートの実践を紹介するとともに、サンゴ礁学会に集まる研究者・実践者、地域のみなさんと一緒に、喜界島の未来を描く戯曲をつくるワークショップを開催します。ぜひ、一緒にサンゴ礁とともにある未来について、考えましょう。

自由集会 02 [11/7 (土) 16:30-18:00]

喜界町役場 トレーニング室

オーガナイザー：日本サンゴ礁学会教育・普及啓発委員会

このページ私が書きました！～「サンゴ礁の世界」の著者に会おう！～

2026年06月01日に、ビジュアル詳細『サンゴ礁の世界』が発売されました。本書は、サンゴ礁学会の粋を集めた一冊であり、生物学、地学、化学、文化人類学など幅広い分野のスペシャリストたちによって執筆されています。本自由集会では、各項目を執筆した著者の方々をお招きし、読者と著者との交流が行える場を設けます。研究の裏側、苦労話や楽しかった話、今後の野望など、本書を読むだけではわからない、深い深い研究の実態について話が聞けます。ぜひ、おいでください！

自由集会 03 [11/7 (土) 16:30-19:00]

喜界町役場 コミュニティホール

オーガナイザー：山本 以智人・鈴木 規慈（環境省）・鈴木 倫太郎（サンゴ研）
日本サンゴ礁学会保全学術委員会（委員長：山崎敦子）

国立公園におけるサンゴ礁保全 ―石西礁湖と喜界島における取組―

日本最大のサンゴ礁域である石西礁湖と新しい発見が続く喜界島沿岸。西表石垣国立公園と奄美群島国立公園の二つの国立公園地域におけるサンゴ礁の現状と保全に向けた取り組みを紹介する。第一部では喜界島沿岸のサンゴ礁の実像と海底地形、現在、環境省で行われているサンゴ調査について紹介する。第二部では、今後の大規模白化現象の頻発化が懸念される石西礁湖における多様なステークホルダーによる保全の取り組みの最前線を共有する。

第一部 ここまで見えてきた！ 喜界島のサンゴとサンゴ礁 ―保全と活用について考える―

喜界島のサンゴ礁環境と特筆すべきサンゴ群集（鈴木倫太郎：喜界島サンゴ礁科学研究所）
海底地形図を活用した調査と保全（菅浩伸 ほか：九州大学）
環境省調査で分かってきたこと～海域公園地区の指定に向けて～（山本以智人：環境省奄美群島国立公園管理事務所）
ダイビングで見えてきた喜界島のサンゴたち（依田純一：ヨネモリダイビングサービス）

第二部 これからのサンゴ礁保全：大規模白化頻発化時代に向けて何をすべきか

企画趣旨及び石西礁湖自然再生事業の概要説明（鈴木 規慈・近藤 千尋：環境省石垣自然保護官事務所）
わが国最大のサンゴ礁海域「石西礁湖」の現状とこれまでの変化（中村 崇：琉球大学）
有性生殖によるサンゴ礁を修復する技術と実践（鈴木 豪：水研機構・水産技術研究所）
企業と法人の立場からサンゴ礁の保全を推進する：先進地「石垣島のサンゴ産卵ファーム」の展望（岡田 亘：沖縄県環境科学センター）
総合討論 日本のサンゴ礁保全のために何が必要か（ファシリテーター：山崎 敦子）

口頭発表・ポスター発表は11月7日（9時～16時）・8日（13時～17時）に喜界町体育館にて開催

喜界町にお住まいの方は、日本サンゴ礁学会の口頭発表・ポスター発表の聴講が無料となります。

学会会場である喜界町体育館にて、住所の確認できる証明書（学生の方は生徒手帳）を受付でご提示ください。